

# Lecture 授業No.23 教科書P.42～

T.Q.「殷から周への社会変化とはどういうものか？」

向出 研司：石川県立寺井高等学校  
地歴公民科教諭

# 直前予習 T. A. キーワード確認

## 教科書 P.43

T.Q. 「殷から周への社会変化とはどういうものか？」

1. 鎬京(こうけい)
2. 諸侯
3. 卿(けい)
4. 封建
5. 宗法

クリックで全て



# 今日の授業ラインナップ。

1. 中国に黄河文明成立
2. 中国最初の殷王朝成立
3. 殷から周への社会変化

## 四章 中国①

T.Q.「殷から周への社会変化とは  
どういうものか？」教科書P.42～

### ① 黄河文明...黄土 ※1

(1) 仰韶(ぎょうしょう)文化(B.C.5000～)

...中流域で農耕・牧畜。彩文土器 ※2

粟(アワ)・ムギ ブタ

(2) 竜山文化(B.C.2500～)

1 下流域に邑(ゆう)成立...都市国家的な村落共同体

2 黒陶 ※3

### ② 殷(いん)(B.C.16C、成立) 都\_\_商

...初の王朝？(夏が初？)

政治:王の占いによる神権政治

cf. 殷墟から甲骨文字(漢字のルーツ)発見 ※4①②

文化:高度な青銅器文明 ※5

### ③ 周(西周 B.C.11C、成立) 都\_\_鎬京(こうけい)

...渭水の流域に成立→殷を滅ぼし華北統一

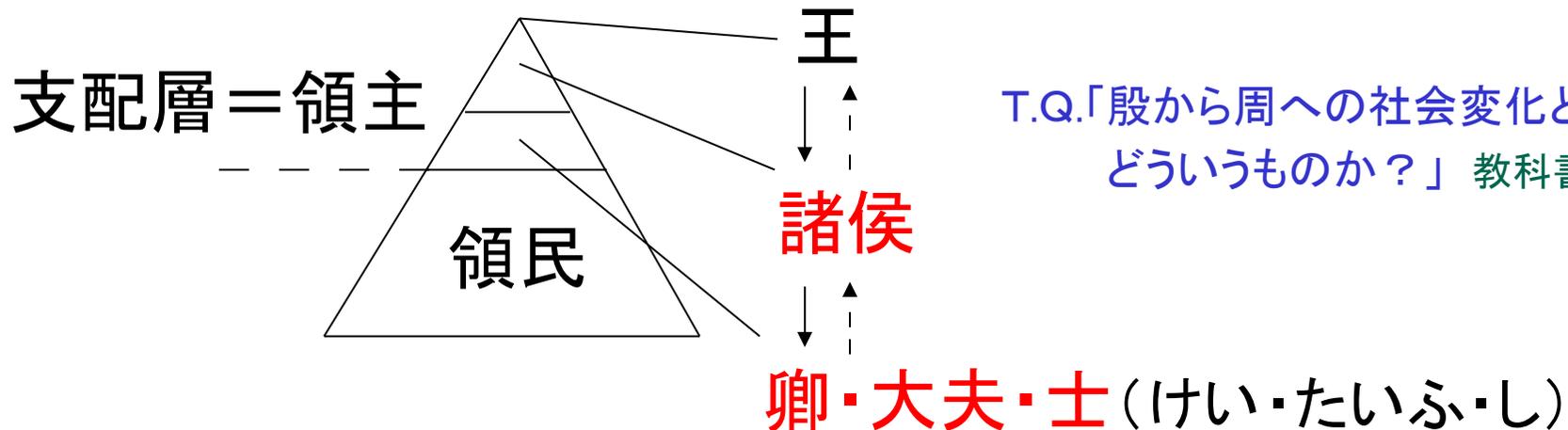
③ 周（西周 B.C.11C、成立） 都\_\_鎬京（こうけい）

...渭水の流域に成立→殷を滅ぼし華北統一

——— ここから

政治：封建（ほうけん）制度

a 領主が双務的君臣関係を結ぶ... 血縁中心



↓ 封土（領地） ↑ 従軍、貢納（こうのう）

b 宗族内の宗法にもとづく ex. 上（かみ）座と下（しも）座  
父系の同族

最後のスライドはここまで！

※T. A. まとめスライドへ



※1



クリックで、黄土を使った化粧品

高さ34cm



↑彩文土器さいとう(彩陶)

クリックで、写真

**彩文土器** 赤地に  
幾何学文様きかがくもんようを施しほどこ  
た素焼きすの土器。



こくとう  
↑ 黒陶

高さ15.8cm

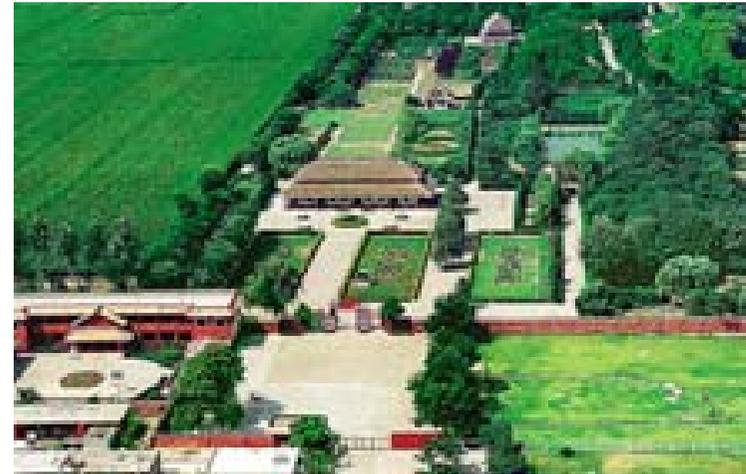
**黒陶** うすで 薄手で こうたく 光沢がある。ろくろを使い、高温で焼かれた。

クリックで、写真

※4①Next 殷墟遺跡

②

①



殷の宮殿跡

③

殷墟から出土した、甲骨文の刻まれた大量の亀の甲羅

クリック①～③で、写真

①

# ※4②Back 甲骨文字

②



👇 亀の甲の亀裂で吉凶を占う神官



クリック①・②で、写真・図



盛酒器

↑ <sup>そん</sup>尊(殷) 高さ59cm

**解説** 殷代の青銅  
器(祭器)は饗饗文(獸  
面文様)で飾られ、中  
に入れた供物が悪霊に  
とられないようにして  
ある。(→ 靈魂信仰)

クリックで、写真

## Lecture 授業No.23

T.Q.「殷から周への社会変化とはどういうものか？」

殷では王が占いで万事を決める神権政治が行われ、また、邑制国家の形態をとった。次に興った周では邑制国家を引き継いだが、祖先の祭りや身分などを定めた宗法にもとづく血縁中心の氏族制的な封建制度で支配階級を作った。